

# 自ら学びを創造する子の育成 ～個別最適な学び・協働的な学びを通して～

幌延町立問寒別小中学校

## 1. 研究主題について

「自ら学びを創造する子の育成」  
～個別最適な学び・協働的な学びを通して～  
本校では、学習に向かう児童生徒の学習状況を適切に把握し、個に応じた必要な支援を重ねている。また、小学校では、間接指導時の「自力タイム」を、課題や見通しを児童に明確にもたせ、主体的な取組としている。また、小・中ともに、子どもと教師が単元計画を共有することにより、生徒に単元のゴールまでの道筋（解決方法）の見通しを持たせ、自分に合った解決方法で取り組む学習活動の充実を図っている。

## 2. オンライン学習など ICT 活用状況

「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」  
事業趣旨（抜粋）

- ・小学校において、教員の授業力向上や学校全体の授業改善に取り組み、その成果の地域全体や管内への普及に取り組む事業

幌延町

推進教員配置校 1 幌延町立幌延小学校

推進教員配置校 2 豊富町立豊富小学校

連携校 幌延町立問寒別小学校

<R6 実践>

- ・年5回の来校（1日日程）。主に授業における効果的なICTの活用に係り、担任と複数体制での授業づくりを実践。
- ・令和の日本型教育に向けての授業づくりやICTを活用した授業づくりに関わる通信の発行。
- ・タブレットで活用できる様々なアプリについての情報提供。

(ICT活用例と成果)

- ・タブレットの録画機能を用いて、学習や運動の練習や発表の様子を記録し、変容を感じさせることができた。
- ・文章や図形の並べ替えで視覚的に解決方法を探ることができるようにした。試行錯誤する中で自分の考えをもち、課題解決に望むことができた。

## 3. 幌延町教育研究所研究大会

11月22日に「幌延町教育研究所研究大会」が問寒別小中学校を会場に開催され、幌延町の教職員を中心に集い、学びを深めることができた。

- ～小3・4年生 国語科複式授業公開
- 小5・6年生 算数科複式授業公開
- 中3年生 国語科授業公開



本校の実態(小)で言うと、「直接指導の時間が限られ、どうしてもそこで『教え込む』ような指導となる」「1番大事な『課題追究』の場面が間接指導となり、子どもの思考過程が見えづらい」「子ども同士の『学び合い』が難しく、どうしても教師主導・教師と子どものQ&A形式の授業に陥りやすい」等、少人数複式授業の難しさがある。5・6年学級では、架空の同級生「昭和太郎くん」と「令和玲子さん」を授業に参加させた。子どもたちに揺さぶりをかけ、子どもたちが協力して課題を解決しようとする姿勢を高めた。

## 4. 今後の方向性

引き続きICTの効果的な活用、そして子どもたち一人ひとりの学習状況に応じた指導に努めていくとともに、みんなを大切にするという考え方が学級全体で共有できるような日常の学級経営を基に「学び合い」をすすめていく。子どもたち自身の力で課題解決するための工夫・手立てを特化させた「問寒別スタイル」の確立を目指す。